

◆概要

- 目的
 - ・ 各種相談窓口の新任職員に対し、多重債務問題に係る基礎的な知識や、関係施策の動向等について、周知を図る。
 - ・ 窓口業務の経験者に対し、具体的な相談事例を基に解決策を探る事例検討を通じて、対応力の向上を図る。
- 開催日時
 - ・ 新任職員向け 【第1回】平成27年7月14日(火)、【第2回】平成27年11月27日(金) 各日13:30～17:00
 - ・ 経験者向け 【第1回】平成27年9月11日(金)、【第2回】平成28年2月(予定) 各日13:00～17:00
- 参加者

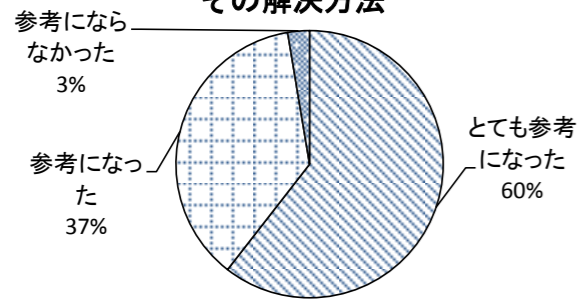
○ 研修内容

- 【新任職員向け】
 - 「最近の多重債務問題とその解決方法」(弁護士)
 - 「東京都における多重債務問題の対応」(消費生活総合センター、福祉保健局担当各課)
- 【経験者向け】
 - 「最近の多重債務問題の状況」(弁護士)
 - 「法テラスの事業紹介」(日本司法支援センター東京地方事務所)
 - 「多重債務相談への対応について」(生活サポート基金 相談員)

所属	新任向①	新任向②	経験向①	計	所属	新任向①	新任向②	経験向①	計
東京都	18	14	7	39	社会福祉協議会	25	6	9	40
区市町村	29	29	43	101	その他	4	3	2	9
					合計	76	52	61	189

◆アンケート結果（新任職員向け第1回）

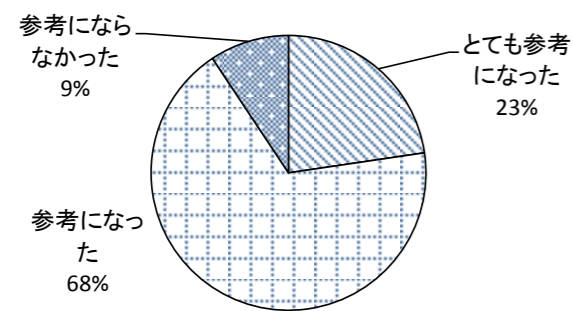
1、最近の多重債務問題とその解決方法



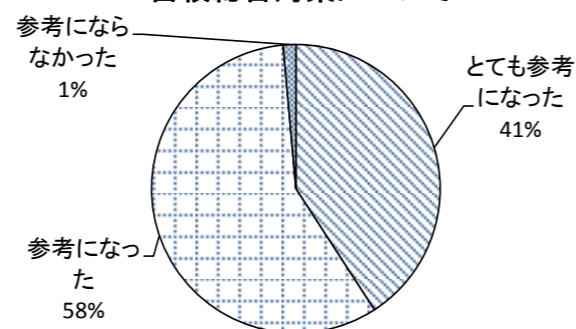
【意見・感想】

- ・ 滞納整理、納税交渉の中で多重債務者に対し、漠然と債務整理の提案をおこなっていたが、今後は具体的な相談窓口と共に提案することができると感じた。
- ・ 返済シミュレーションを作成し、本人に自覚を促すことの大切さを知り、日々の業務に取り入れていきたい。

2-1、東京都における多重債務問題の状況について



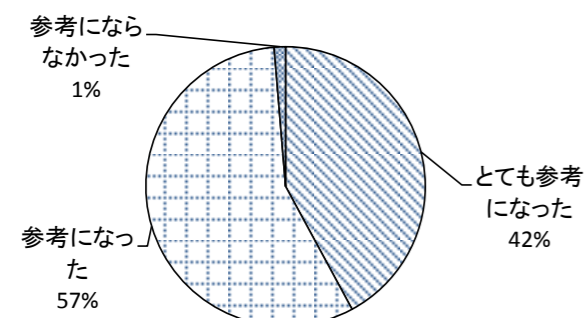
2-3、東京都における自殺の実態と自殺総合対策について



【意見・感想】

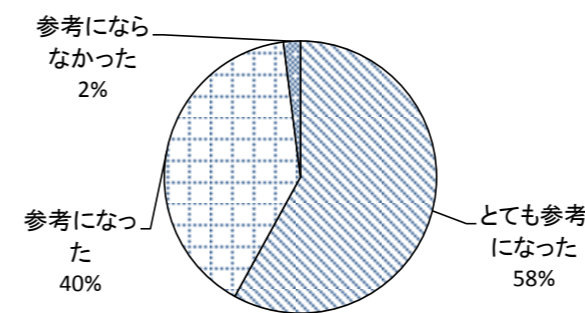
- ・ 「東京モデル」のお話から連携の重要性を改めて感じた。
- ・ 生活困窮者自立支援窓口等、各種相談窓口と適切に連携することで、早期発見・早期解決につながる事がわかった。
- ・ 滞納整理の仕事では、滞納者を追い詰めてしまう可能性もあるので、自殺のサインを発していないかなど注意深く見守ることも必要だと感じた。

2-2、多重債務者生活再生事業の概要



◆アンケート結果（経験者向け第1回）

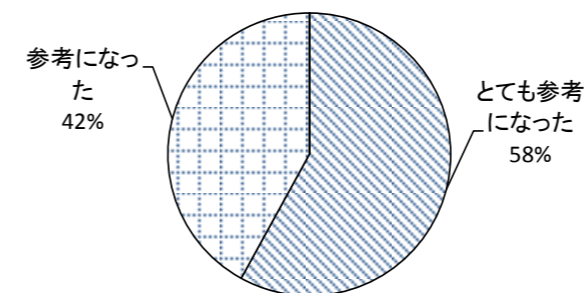
1、最近の多重債務問題の状況



【意見・感想】

- ・ 法規制によって以前とは違った困難な状況があることが理解できた。
- ・ 各種債務整理の方法やメリット、デメリットがわかりやすく参考となった。また、実例を交えたお話を聞く機会がないので、大変興味深かった。

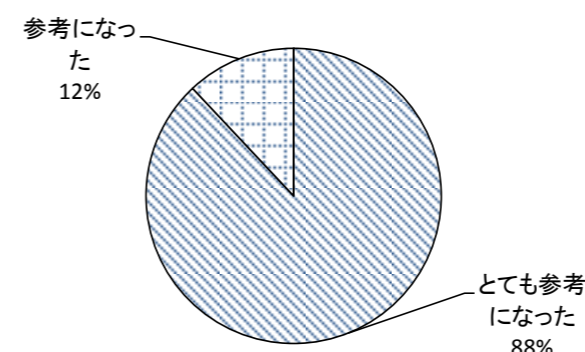
2、法テラスの事業紹介



【意見・感想】

- ・ 電話相談の内容などを具体的に知ることができ、今まで漠然としていた法テラスの業務内容がよくわかったので、今後積極的に紹介しようと思った。
- ・ 無料法律相談だけでなく、弁護士費用の立て替え制度があるなど、組織・制度・事業内容について詳しく知ることができた。

3 多重債務相談への対応について



【意見・感想】

- ・ 具体的なケースについて、様々な分野の担当者と議論することで、今までなかった視点で解決策を検討することができ、大変有意義だった。
- ・ 家計表を作成することによって、債務整理等生活再生への具体的な方向性を決めていくプロセスを学ぶことができた。
- ・ 相談者にとって、無理のない計画を立てるためには、本人と寄り添いながら支援を進めていくことが大切だと感じた。